



水戸市議会の健全化、正常化を望む

議長選買収疑惑を解明。

議長選で松本勝久がバラまいた資金は農協から捻出されていた。須能昭一後援会、七役は農業委員、元農業委員、農協理事、元農協理事等々で構成されている。

七役は農協から松本勝久の要求どおり1千万円を借入。松本勝久は500万円をまず自分自身へ、500万円を共産・社民・無所属へ分配したのである。

自民党議員松本勝久は共産党中央議員との政策協定の成立について、共産党と自民会派の政策協定はありえない。

中庭次男委員長の兄は昭和50年代、大工町で水戸市内一番の“おもちゃ屋”を経営していたが経営難で倒産。借金取りに毎日追われて借金取りから逃げるため、指定暴力団●●●の組員となった。暴力団との関係は松本勝久（の長男の組員）と同じく身内の関係であるので100条委員長として平気で先ず暴力団組員の証人要請を行い、現組員小池●●の金の要求の証言、次回元組員鬼沢某のたぶん金の要求の証人要請を行ったのである。

自民党松本勝久と共産党中央庭次男の協定の中身は身内の暴力団組員同志という何とも情けない事実なのである。

間もなく警察のメスが入ると思います。